

日経平均株価

4万2718円47銭  
▼110円32銭(前日比)

TOPIX  
3075.18  
▼14.60

# 株式市場新聞

[www.marketpress.jp](http://www.marketpress.jp)

2025

9/1

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL. 06-6105-1904



# 建設株再人気化の公算

# 台風シーズン迎えクローズアップへ



## 9月は台風シーズン

院選で与党が敗北したことからガソリンの暫定税率が廃止なる可能性が高いが、その一方でインフラ整備に絡む財源確保も論

9月は特に建設が発する  
8 設鹿島建（一）ンゼイでネコ大手性が高まる可能性が  
1 ういだろ。アツズアツ  
1 ういだろ。

## 日経平均の日足チャート



最大手ゼネコンで大成建設（1801）が今年、1990年1月以来約35年ぶりの高値をつけるなど、これまで東京市場＝半導体というイメージが強かつたなかでは日本の優良株物色が拡がりを見せるなかで強さを發揮している。建設が改めて人気を集めれる背景には異常気象による災害が多発するなかでインフラ整備が急務になつていていることも背景にある。

も有権者からの批判を浴び易い新税導入には躊躇するだろうが、大災害を防ぐための政策が待った無しであり、台風シーズン到来で災害が多くなる月は

やマンホールやライン導水ブロックなどのコンクリート製品を手掛けるイトヨーギョー（5287）も注目しておきたい。

## インフラ整備へ新税検討

日経平均が4万3000円を突破し史上最高値を更新する過程で主力銘柄では半導体や防衛、エネルギー関連とともに物色されているのが建設株。内需依存度が高い故にトランプ関税への影響が皆無なうえ、財務内容が安定している企業が多く、国土強靭化を進める上で欠くことのできない企業が多い。9月は台風シーズンであることに加えて、政府はガソリン減税の代わりにインフラ整備に充てる新税の検討に入つており、建設株が再び人気を集める公算は高い。

2)、大林組(1802)、清水建設(1803)も高値圏で強い動きを続けていた。地盤改良に強みを持つ不動テトラ(1813)、ライト(1926)も



## 8月第3週の動意銘柄

BTMがストップ高

ヘッドウォータースと協業

**B** 連休明け18日、  
**T** **M**(5247)

ショーン提供による収益化を目指す。

がストップ高  
日、ヘッドウォータース（4011）と  
生成AIをはじめとするAIエンジニア  
ト領域で協業を本格化させると発表した  
ことが材料視された。  
今後、両社はAIエンジントリセービス  
をBTMの既存顧客基盤にも展開し、プラ  
ットフォームとソリューション

## AppBank開発契約

# AppBank開発契約

I C I N と過敏性腸  
社のあすか製薬が M  
するとともに、子会  
付行為等趣旨説明書  
ンツから「大規模買  
トーン・インベストメ  
6) が急反発。ダル  
デイングス(488  
あすか製薬ホール

創建エース（1757）が急落。東証が9月19日付で上場廃止すると発表したことから投げ売りが殺到した。8月1

**京都友禅黒字引続き好感**

1億600万円（前年同期3億1600万円の赤字）となつたことが引き続き好感された。一般呉服などについては、既存顧客への接点強化や収益管理、新規顧客獲得施策の積み重ねが着実に成果を見せていく。

発表したことが引き  
続き買い手掛かりに  
なった。この日、契  
約に関する説明資料  
を公表している。

症候群治療用アプリの共同開発・販売契約を結んだと発表したこと。これが買い手掛かりになつた。消化器領域で新しく、治療選

値は堅く、個別株価が  
上がりると考えられ  
繰き高値抜けが期待  
される強い銘柄を狙い  
いと思います。花咲

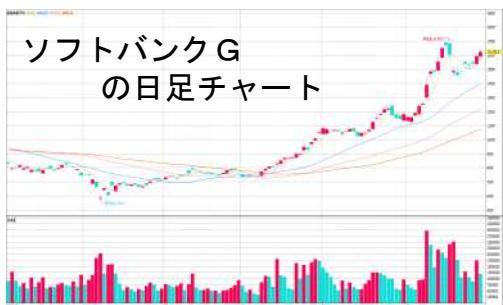
1億600万円（前年同期3億1600万円の赤字）となつたことが引き続き好感された。一般呉服などについては、既存顧客への接点強化や収益管理、新規顧客獲得施策の積み重ねが着実に成果を見せていく。

ロジザード13% 営業減益

TENTIAL上方修正  
(325A) がスト

利益で6億4900万円から11億4100万円へ上方修正した。主力商品であるリカバリーウェア「B A K U N E」を中心販売が想定を上回った。

# 正直じいさんの株で大判小判



落、SOX指数も1・8%以上下落したこともあり、ここまで急ピッチな上昇から利益確定売り優勢の動きとなつた。同社株1銘柄で日経平均を230円超下押

## SBGが大幅続落

## 日経平均230円押し下げ

ソフトラブルバード（984）

（4499）やインタートレード（374072）のスティブルコイン関連銘柄が揃ってストップ高。アステリア（3853）がJPYC発行の日本円建てステーブルコインの決済デリタ連携ツールを開発すると発表したことで連想買いが広がった。Speeは子会社を通じてステーブルコイン関連事業、

インターネット上で金価格連動型ステークルコインの取引システムを手掛け、電算システムはステークルコイン決済送金基盤を構築している。

ステーブル揃つてS高

N C S & A (97)  
09) が急伸、年初  
来高値を更新した。  
発行済株式の 8・6  
5%にあたる 140  
万株、21億円を上  
限とする自社株取得  
枠を設定すると発表  
取得期間はきょう 2  
末まで。併せてきよ  
0 日から 26 年 7 月

うの東証の自己株式立会外買付取引で発行済株式数の3・71%にあたる60万株を上限に買付け委託を行うと発表しており、大規模自社株買いによる株価浮揚効果を期待した買いを集めた。発行済株式数の16・67%にあたる300万株の自社株を消却することも発表した。

NCS大規模自社株買

六 松井証券

# 今こそ始めるデイトレード 松井証券の一日信用取引

手数料 0円 金利・貸株料 0~1.8%

取引  
コスト

プレミアム  
空売り

独自  
サービス

最短3分でお申込み完了!

**【無料】新規口座開設はこちら**  
marketpress.jpのバナーをクリック



（4183）が大幅  
反発、年初来高値を  
更新した。日本経済  
新聞電子版で「20  
日開幕した第9回ア  
フリカ開発会議（T  
I C A D 9）で、製  
油所を運営するナイ  
ジエリアの財閥大手  
ダンゴテ・グループ  
と覚書を結んだ」と  
報じたことが材料視  
された。ダンゴデは  
エネルギーや食品、  
不動産などの事業を  
展開しており、基礎  
化学品や樹脂、包装

三井化学大幅反発

# ナイジエリア財閥と覚書

材など化学品全般で連携を探る方針で、現地生産に向け技術供与や合弁会社の設立を検討するという。

# れた。TORICO連続S高

週明け25日、  
**田丸正**(8105)  
が一転してストップ

# 堀田丸正一 転してS安

## 8月第4週の動意銘柄

%をBakktOp  
co Holding  
sに譲渡と発表し  
たことで、デジタル  
資産関連との評価で  
上値追いが続いてい

たが、上昇のスター  
トラインが100円  
以下だつたことから  
買いが止まると一転  
して高値警戒からの  
投げが積み重なつた。

が同社株式を5・23%保有していることが22日に提出された大量保有報告書で明らかになり、思惑買いを誘つた。

が連続ストップ高。20日に幻冬舎と暗号資産・プロツクチエーンなどWeb3領域で新規事業の創出に向け、業務提携すると発表したことなどが引き続き材料視されたりました。

安親会社のR.I.Z  
A.P.G.R.I.Z (280) が株式の30

アクリト資本業務提携

託保証金率を30%以上から50%以上（うち現金20%以上）に引き上げたことで買い手控えられ値を崩した。日証会も同様に貸借取引自己取引分の増担保会員徴収率を引き上げを

トレドワクス信用規制

メディア運営やコントラクターテイリングを通じて培ってきたWeb開発の3領域の経験とノウハウを活かし、同社の暗号資産・ブロックチェーンの既存事業への活用支援や新規事業の創出を図る。

## 鬼門の9月相場

8月の月足は陽線形成で4月から5カ月連続の上昇となりました。移動平均線を確認すると6カ月線と12カ月線がゴールデンクロス。これは2023年3月以来のことですが、この時は3月末の2万8041円から翌24年7月の4万2426円高値まで51%もの上昇となりました。

また、月足で5カ月連続陽線というのは珍しく、遡ると2015年1月～5月以来、10年ぶりのことです。それ以前の連続陽線記録を調べてみると、2012年8月から13年4月までの9カ月連続陽線、2005年5月から6年1月の9カ月連続といったように5カ月連続は更に陽線を伸ばすケースが見られ、なにかしら大きな相場へ発展していく可能性が出てきました。

今週から9月相場になります。戦後の9月相場は34勝42敗と唯一負け越ししている鬼門の月ですが、押し目は買い場だと考えております。

日々勇太朗

# 高耐熱性粘着付与剤開発

ハリマ化成G

## 自動車分野中心に新用途を開拓

ハリマ化成グループ（410）は高耐熱性粘着付与剤を開発、サンプルワークを進めている。同社は松から得られるロジンによる粘着付与剤を販売、宅配便の紙ラベルや粘着テープなどに使われているが、新製品は耐熱性を従来品の約2倍にまで高めたことで、自動車分野を中心におよび新しい用途を開拓していく。一方、粘着剤は自動車内装パネルの取り付けは接着剤が主に使われているが、乾燥に時間がかかり、環境や作業者の負荷がかかる揮発性有機化合物（VOC）の発生が問題になつてきる。一方、粘着剤は部品を瞬時に時短がかかる揮発性有機化合物（VOC）の発生が問題になつてきる。

## 企業レター

ハリマ化成グループ（410）

じて時価総額100億円企業を目指す』を通じて、新ビジョン「成長モデル」を策定したと発表された。

# ウィルソンWがS高

## 新ビジョン策定を好感

（961）がストップ高。



## メルセデス年金基金売却報道

# 日産自動車が急落

（7201）が急落。ド

（461）が大幅反落。

（7201）が急落。ド

（5・98%のディスカウントとなる見通しで、メルセデス・ベンツグループの年金基金が保有する日産自株式3・8%分）

（7201）が急落。ド

（5・98%のディスカウントとなる見通しで、メルセデス・ベンツグループの年金基金が保有する日産自株式3・8%分）

（7201）が急落。ド

（5・98%のディスカウントとなる見通しで、メルセデス・ベンツグループの年金基金が保有する日産自株式3・8%分）

## DefコンサルS高

（483）がストップ高。

（483）がストップ高。

（483）がストップ高。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

## ACCESS特別注意指定

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

（483）が大幅反落。

## TORICO再びS高

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

## 第一工業製薬は希薄化懸念

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

（461）が大幅反落。

# 高野恭壽の 株式情報 これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活！

のほか、大阪チタ  
ンが急伸し230  
0円台に乗せまし  
た。半面、ニコン、  
富士通、良品計画、  
トレンド、  
帝人、N  
EC、日  
産などは  
値を消し

が出てきまし  
た。不二製油  
(2607) が新中期計画  
を発表し急伸  
しました。急  
伸後の反落を  
待つて狙つて  
みるのも一策  
です。

**高野恭壽**(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞  
大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て  
株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タ  
カさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジ  
オに出演。「株式投資30カ条」など著書も。

公式ホームページ  
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

月末の調整売りがピークをえ、28日は寄り付きから大株中心にまとまつた売りとした。大きく下落してはじまつたのしする展開になり、戻す動きが強まつたことになります。

で紹介の井関農機（6310）が予想通り上げて2000円台に接近しました。三菱重工（7011）も売り一巡の後は急速に戻す展開になりました。ほぼ未、これらを参考して今後、トヨタ

## 不二製油の押し目狙う

していま  
した。

# 三菱重工も底打ちへ

物（8804）も注目されそ  
不<sub>（8830）</sub> 東京建

# ニコンがストップ高

## 欧大手眼鏡ネラー出資引上げ提案

チタ急伸  
向け需要拡大期待  
を打診されていると  
いう。



半導体安寄りの後上昇

ニゾンガ

(8035)がなど  
半導体関連が安寄り  
のあと上げに転じた。  
エヌビディアが好決  
算を発表したもの、  
時間外で株価が下落  
したことで売りが先  
行したが、イベント

コンヴァノ（65）  
74)が急反発。ビ  
ットコイン保有戦略  
室会議で新たに総額  
20億円のビットコ  
インを購入すると発  
表したことが材料視  
された。9月末まで  
に総額20億円のビ  
ットコイン購入を完  
了させる予定。

大チタ、邦チタ急伸

相場展望



**望** M Cを前にして足元米国の景  
指標に明確なトレンドが見ら  
ソノホールでのパウエル發  
言から9月の利下げはほぼ  
織り込まれていて、今後  
の利下げペースについては  
全く不透明だ。パウエル議  
長はかつて、1970年代  
にF R B議長を務め  
たアーサー・バー  
ズ氏が当時のニクソ

日本株に関しては、外国人買いと自社株買いによる好需給が当面は継続するだろう。9月の米国株はややパフォーマンスが悪い傾向があり、もたつく局面も考えられるが、高配当と株主還元銘柄の押し目買いが基本戦略だろう。個別には小野薬品工業（4528）、JFEホールディングス（5411）など。

日経平均は一時の勢いが止まつたとはいえ、底堅い動きが続いている。米国ではダウとS&P500が最高値を更新し世界的にリスクオンの様相である。FRBにも攻撃を強めるトランプ大統領の強引きは相変わらずだが、市場の反応を見る限りトランプリスクは明らかに後退している。むしろ、建前論で覆われた従来の不明朗さよりも、単純な本音の情報発信を良しとしている感さえある。狙い通りかは別にして、株式市場にフレンドリーなトランプ大統領にとつては好都合の流れだ。気を良くしてトランプ流がさらにヒートアップする可能性があるが、リスクを過大評価すべきではないだろう。

光世証券 エグゼクティブ・マネージャー

西川 雅博 氏

## 高配当と還元銘柄の押し目

## 好需給は当面継続

ノ大統領の意に沿つてインフレの芽が残る中、緩和策を繰り返しその後の大インフレ時代を招いた失敗について発言している。利下げには慎重姿勢を続けると見るのが妥当だろう。



## 造船関連が軒並み高

国策追い風とする記事を材料視

材料視し、関連銘柄に買いが広がった。米国が海事産業再生へ大統領令に署名、国内も政府が造船業再興に向け支援に動き始めたとしており、三井E&Sについて、は二元燃料エンジンの収益貢献に期待が高いまっているという。

吉野家はすき家値下げ

吉野家ホールディングス（9861）が急反落。ゼンショーホールディングス（7550）傘下のすき家が牛丼など一部商品を9月4日から値下げすると発表したことを受け、客数減少が警戒された。値下げは約1年ぶりで牛丼並盛を480円から450円へ30円引き下げる。異物混入事件の影響が残り消費者の節約志向が高まるなか客離れを防ぐ。松屋フーズホールディングス（9887）などの中堅業者も安価化懸念からゼンショーホールディングス（9887）の同業に加え、価格競争激化懸念からゼンショーホールディングス（9887）も安い。

# チャートから読む 脱落銘柄

野村マイクロ(6254)



8月18日に3435円の年初来高値更新後に調整していたが、3000円割れかづ25日線接近でもみ合った後に急速に切り返す。米国を中心に大型案件獲得へ期待が高く、27年3月期にV字型回復へ期待。

名村造船所(7014)



8月25日に最高値3675円を付け、一呼吸入れですかさず切り返す。国策に乗る造船準大手で、中大型船に優位性を持つ。貸借倍率0.26倍、信用倍率1.42倍の好取組みをテコに青空相場を一段高へ。

DyDo(2590)



26年1月期予想を最終損益で30億円の赤字（前期38億400万円の黒字）と発表すると2500円割れまで一気に値を崩す。24年8月以来の安値水準となり、次は22年11月の安値2245円を意識。

ACCESS(4813)



特別注意銘柄指定と上場契約違約金徴求を嫌気、急落の後も下げ止まる気配はない。長期にわたり誤った決算情報を公表し続けたことで、経営の不信性が大きく棄損、上場来安値479円が視野に入る。

※チャートは日足

★  
「安・近・短」を追求する時代はやはり長いだろう。  
長い時代はやはり生き残れないだろう。  
★  
「安・近・短」を追



が高まつた。スレーパーマンなどのSF洋画よりも、やはり、邦画の方が感情移入しやすい。テレマーバークや万博などに行くと1日はそれで時間が潰されてしまう。これか長時間費やして応援しているチームが負けてしまうと疲れがかかる時代はやはり生き残れないだろう。

# 星野三太郎の 株街往来

～「安・近・短」の時代～

Z世代やα世代の一部で映画鑑賞がブームになつてゐるそうだ。東宝の「国宝」が国内興行収入100億円を超えたそうだが、これまでのアニメや洋画から邦画に人気がシフトしているそうだ。筆者も動画配信サービスで映画を自宅で鑑賞していたが、仕事や自治会などからの電気先鑑賞で多く、集中できないことが多い。映画鑑賞なら「安・近・短」で楽しめるということだろう。

## New product

**カルビー** 全国コンビニで期間限定  
じゃがりこ ヤンニヨムチキン味Lサイズ



カルビー（2229）は、クセになる甘辛ソースと、ピリ辛コクうまな味わいが楽しめる「じゃがりこ ヤンニヨムチキン味Lサイズ」を全国のコンビニエンスストアで期間限定発売している。

甘辛いヤンニヨムソースをイメージした味わいとチキンソボロを練り込んだ再現度の高いヤンニヨムチキンの味わいが楽しめる。パッケージは味を連想する黄色をベースとし、韓国風ポップフォントで味名を表記し韓国料理らしさを演出。このフレーバーは、2023年にテスト販売をしたところ顧客から「甘辛い味とチキンがベストマッチ」「クセになる。ハマりそう！」など好評だったため、2年ぶりに発売する運びとなった。「じゃがりこ」が好きな人はもちろん、韓国料理が好きな人も楽しめる。

## 液化ガスプラントが稼働

エア・ウォーター

インド南部エリアの需要に対応



チエンナイ工場の液化ガス製造プラント

エア・ウォーター（4088）グループのエア・ウォーター・インデニアが、印度南部のナドムル州に建設された液化ガス製造プラントを新設。サプライチェーン

これまで主にベラトリック場（カルナータカ州）で製造する産業ガスをチエンナイ含む南部エリアの顧客に供給してきたが、年々高まるガス需要に対応するためチエンナイ工場内に液化ガス製造プラントを新設。サプライチェーン強化により、チエンナイ周辺の製造業向け産業ガスや医療ガス需要を獲得していく。チエンナイ工場の液化ガス製造プラントは、同社グループがインドにおいて初めて設立された工場から建設までを手掛けた。チエンナイ工場の液化ガス製造プラントは、同社グループがインドにおいて初めて設立された工場から建設までを手掛けた。チエンナイ工場の液化ガス製造

企業レター

潮流

# 防衛産業の歴史的転換点

## 本格的な国際進出へ舵を切る

mark**E**t/bAnk

2025年8月、オーストラリア政府は同国海軍の次期フリゲート艦に、日本の三菱重工業製の艦艇をベースにした新型艦を採用すると発表した。周辺地域の緊張が高まり、防衛産業への需要が急騰するなか、この決定は日本が主要な武器輸出国となるための大きな一歩となる。

日豪の契約締結は2026年初頭になると見られている。建造に投じられる費用は推定65億ドル（約9500億円）に達し、日本にとってはこれまで最大規模の防衛装備品の輸出となる。これまで日本の防衛装備品輸出は限定的だったが、今回の契約はフィリピンへのレーダー輸出に続く2例目であり、完成品の大型輸出としては初である。

日本が今後、軍艦やミサイル、レーダーシステムを輸出する際のモデルケースにもなる。日本の防衛産業にとって歴史的な転換点だ。これにより、日本の軍事関連企業は国内中心の事業構造から、国際市場への本格的な進出へと舵を切る可能性が高まる。これから日本の軍事企業

は、世界市場に進出する機会を積極的に模索するだろう。

官民連携による輸出体制の整備が進めば、三菱重工以外の企業（川崎重工、IHIなど）も海外展開を加速できる。高性能・高信頼性の日本製装備品が

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2024年3月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行なう。



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク 代表取締役）のプロフィール  
1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の  
中から優勝。2002年

国際市場で評価されれば、ブランド力が確立される。防衛産業が経済安全保障の中核として位置づけられ、国家戦略の一翼を担う可能性がある。

日本経済にとって象徴的かつ実質的なインパクトを持つ。防衛装備品の完成品輸出としては過去最大規模であり、単なる企業収益の増加にとどまらず、産業構造や国際的な経済戦略にも波及効果が期待される。戦略物資・技術の国際展開が進み、外交と産業政策が連動する新しい経済モデルが形成される。

日本の輸出は自動車や電子機器を中心だが、防衛装備品が新たな柱として加わることで、輸出産業のポートフォリオが広がる。今回の契約は未来に向けた新しい日本経済のビジョンを描く第一歩だ。日本経済の構造転換を促す可能性を秘めている。

潮流銘柄は三菱重工業（7011）、三菱電機（6503）、日本製鋼所（5631）。



日本経済構造転換促す



敏腕先物ディーラー

## ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



16日～17日に米FOMC

## NYダウの日足チャート



いので、下回つて引けてくると調整は長引きそうである。その際に月7日に窓は下値は8円埋め(4万円)が視野に入つてこよう。また、

騰落レシオは127・96%と8月5日以来の水準まで収まってきたが、まだ過熱ゾーンで推移している。FOMCの利下げが下支えする展開だが、買い材料に乏しいため上値の重い展開は継続すると思われる。

今週のレンジは4万1500円～4万3000円を想定する。節目近辺の押し目買いに徹したい。(ハチロク)

先週の日経平均は前週末比約85円高と上昇、週足では陰線となつたが、月間では5カ月連続陽線となつた。注目のジャクソンホールでのパウエル議長の講演内容は9月の利下げを強く意識する形となり米国株は上昇、日本株も上昇したが、寄り後は上値を抑えられる展開となつた。更にエヌビディアイア株の決算では市場の予想を上回る好決算だつ

たが、期待値が高過ぎたため  
か発表後、売られる展開とな  
つた。

しかし、「エヌビディアショ  
ック」とまではいかず、買い  
は入らないが大きな売りも出  
ない気迷い相場となつた。結  
果、週足では辛うじてプラス  
となり、月間では5カ月連続  
の週足陽線となつた。

8月相場は月間で約164  
8円(4%)上昇、過去最高  
値を更新したこの月の売買代  
金は、海外勢の買いが流入し  
過去2番目の大きさと  
なつた。

A D P 雇用統計、5日に雇用統計が発表される。8月には速報値の数字が予想外に訂正され、相場が混乱したため注目度は高まつていい。今週はイブニング取引で乱高下しそうな週である。

チャートでは25日移動平均線（4万2034円処）を強い下値抵抗ラインとして意識して推移している。今年は5月以降、引け値で25日移動平均線を下回ったことがな

日足基準線（4万1863円  
処）、週足転換線（4万15  
30円処）も意識される水準  
であろう。一方、上値は転換  
線（4万3007円処）、先  
週の高値（4万3201円）

# 上値の重い9月相場

今週から9月相場入りである。今月は16日～17日に米FOMCが開かれるため、その前の経済指標の発表に相場は振り回されそうだ。

## 日経平均の月足チャート



本円でおよそ6兆8900億円、最終利益は590%増の264億2200万ドル、日本円でおよそ3兆8900億円だった。米中対立によつて中国向け製品の輸出の先行きが懸念される中、世界的な生成AIの開発競争に支えられ、データセンター向けの半導体の需要が好調で過去最高かつ市場予想を上回る内容だつた。ただ、データセンターや向けが市場予想を下回つ

## 当面のスケジュール

- ・ 1 日 4-6月期法人企業統計  
中国8月RatingDog製造業PMI  
休場：米(レーバーデー)
  - ・ 2 日 8月マネタリーベース  
10年国債入札  
米8月ISM非製造業景況指数
  - ・ 3 日 米7月JOLTS求人件  
ベージュブック(米地区連銀経済報告)
  - ・ 4 日 米8月ADP雇用統計  
米7月貿易収支  
米8月ISM非製造業景況指数
  - ・ 5 日 7月毎月勤労統計調査、7月家計調査  
7月景気動向指数  
米8月雇用統計
  - ・ 8 日 4-6月期GDP確定値  
8月景気ウォッチャー調査  
中国8月貿易収支
  - ・ 10 日 中国8月生産者物価、中国8月消費者物価  
米8月生産者物価  
米10年国債入札
  - ・ 11 日 7-9月期法人企業景気予測調査  
8月国内企業物価指数  
ECB定例理事会(ラガルド総裁会見)  
米8月消費者物価  
米8月財政収支(関税含む)
  - ・ 12 日 メジャーSQ算出日  
米9月ミシガン大学消費者マインド指数

記者の相場 27日はエヌビデイア決算待ち 8月最終週はから週前半は膠着感の強い展開で、エヌビデイアの決算が確認されると28日は売り一巡後に戻す展開になり日経平均は300円超高く引けた。

注目されたエヌビデイアは先月までの3カ月間の決算で売上高は前の年と同じ時期と比べて56%増の4300万ドル、目

たことやこの好決算は大方織り込まれていたことからエヌビディアは発表直後の時間外取引で下落していた。市場の期待値が高過ぎる故の動きだけに、引き続きA Iの成長をテコに半導体含めて関連銘柄が物色されていきそうだ。

今週は9月2日に米8月ISM製造業指数、4日に8月ADP雇用統計、5日に8月雇用統計が発表される。先月はトランプ米大統

下方修正しており、もとでの発  
するか注視さ  
はA D P雇  
ることにな  
平均では4  
破には新た  
引き続きA  
i含めてテ  
一マ株の循  
環物色で値  
固めの展開  
だろう。



三菱商事が千葉と秋田県の3海域での海上風力発電計画から撤退を決めた。1キロワットアワー115円と政府が設定した上限価格29円を大幅に下回る破格の最安値で受注を総取りしたもの、建設費や資材価格の高騰で採算が取れなくなつた。計画の行き詰まりは周知されており、市場の受け止めは冷静だつたが、再生エネの柱とされる海上風力導入の遅れは必至で、将来的電気料金に跳ね返つてくるかも知れない。インフレが進行する現状、コストで高効率のクリーング電源開発が求められる。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。